

こんにちは 2017年7月20日No.145

# ちかざわ美樹です

日本共産党 市議会議員活動報告



chikamiki222@gmail.com

☎&fax 042-582-1870

☆自宅:日野市万願寺 6-35-9

カサベルデ 201

☆ちかざわ事務所(三沢中学校

のそば)日野市三沢 1-13-5

いつでも、どんなことでもお電話下さい ちかざわ携帯 ☎090-9313-1192

## 住み慣れたまちで暮らし続けるための公共交通充実を

### 日野市のめざす公共交通の姿は？

6月議会で日本共産党日野市議団の清水とし子市議は、4月の市長選挙・先の東京都議会議員選挙でも問われた「公共交通の充実」について市に質問をしました。

質問の一つ目は、日野市のめざす公共交通の具体的な姿、二つ目はミニバスの路線・ダイヤについて、三つ目はバスの停留所まで行くのが困難な方のための「ドアツードア」のデマンド型交通についてです。

### 「拠点間連絡」から「生活利便性の向上」へ

これに対する市の答えの概要は以下の通りです。

市内の公共交通網は、鉄道、モノレール、路線バス、ミニバス、ワゴンタクシーと一般のタクシーにより形成されており、「広域都市間連絡」、市内の「拠点間連絡」、「戸別輸送」の役割を担っている。

これまでは、公共不便地域の解消および公共交通施設への市民の移動手手段の確保、高齢者、障害者など交通弱者への外出意欲の確保を目標としてきた。

今後は時代の経過に伴う利用者のニーズを反映した遊びや買い物など生活利便性の向上にむけた公共交通の体系を構築して

いくことが必要と認識している。

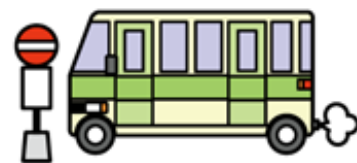
### 地域公共交通連携計画で体系化を構築

平成22年度に「日野市地域公共交通連携計画」を策定し、地域の実情に合った便利で効率的な公共交通網の確立をはかった。

具体的には以下の点を実施した。

- ①異なる交通モードの路線が同じ区間を走行し、非効率でわかりづらいケースを解消し、体系的な公共交通ネットワークの構築。
- ②主要3駅：日野・豊田・高幡不動駅の連携強化
- ③ミニバス路線の単純化。
- ④ミニバスの毎時定時発のダイヤ設定。

また、平成28年10月には、落川・三沢台・他の路線で運行時間の延長をはかり14便を増便、南平路線で回送経路の営業路線化をはかった。



### 主要3駅以外の駅へのアクセス向上を

一方ミニバス・ワゴンタクシーについては、主要3駅以外の駅へのアクセスが弱い傾向にあると認識している。今後市内全域を対象として公共交通網を（裏面へ）

**ごみ広域化計画強行は許されません。白紙にして住民と一からの見直しを！**

【日本共産党の無料法律相談】 第1.2.3木曜日予約制です

第1.3木曜日 18:00~20:00 第2木曜日 13:00~15:00



(表面から) 検討していかなければならない。

「デマンド型交通」については、他市の事例を元に検討を行ったが採用をしていない。今後の公共交通の見直しの際には、あらたな手法として検討していかなければならない。

### どこでも移動できる環境づくりを急ぐことを求める

こうした市の答弁に対して清水市議は、日野市は「まちづくりマスタープラン」で「公共交通機関を使って市内のどこでも移動できる環境を作り上げること」という目標を掲げているが、なかなか遅々としてすすまない。現在でも丘陵地は医療や買い物の拠点が失われて交通手段をもたない高齢者などには住めないまちになりつつある。早急に公共交通網の整備を整えなければ高齢者は移転せざるを得なくなる。思い切った投資で実行すべきだし、運営費等の補助を東京都にもきちんと支援を求めていくことへ踏み出すべきだと意見を述べました。

これに対して大坪市長は、持続可能な日野市を実現するためには、財政的に厳しい問題があるけれども、必要なことはやっていく、必要な初期投資は惜しまないという構えでやっている、などと答弁をしました。

### 《デマンド型交通ってなに?》

路線バスとタクシーの中間的な交通機関です。事前予約により運行するという特徴があります。

電話などで事前に申し込んで希望するバス停や拠点などにバスが迂回して乗降したり、希望する場所に迎えに来てもらうなど、いくつかの方式で行われています。誰も乗らなくても運行している路線バスなどと異なり、必要な場合に必要な場所を運行します。

### 区画整理懇談会のご案内

7月29日(土)10:00~12:00

場所：東町交流センター

アドバイザー 中野あきとさん

個別の御相談にも応じます  
お気軽にお越しください



日本共産党発行



日刊●月 3497円  
日曜版●月 823円



東京民報は東京がよくわかる週刊新聞、月額400円です。いま大注目の東京都政。他紙には決して掲載されない独自取材のニュースが満載の東京民報。見本紙をご希望の方はすぐお届けします、ご遠慮なくご連絡下さい。

### いのちがいらばん

来年の市議選まで半年余りとなりました。しばらく私の自己紹介をしていきたいと思います。1964年東京オリンピックの年に茨城県ひたちなか市(当時勝田市)で生まれました。父は高校の教員、母も働いていました。2才違いの兄がいました。小学校3年生まで住んでいた県営住宅の庭に沈丁花やびわの木、バラ、つつじの鉢があったことを覚えているので、小さな頃からどちらかといえば動物よりも植物が好きだったのかもしれませんが。住宅には同じような年齢の子どもが何人もいてたくさんいっしょに遊びました。兄は優しい気質の人で、兄がいじめられると私が「かたき討ち」にでかけていたとのことでした。



ちかざわ美樹